

平成28年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 第3回北信越事例発表会	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業			事業区分	技術開発、研究開発

1. 事業目的

応用生態工学会は、河川・海岸・農地・森林・都市などあらゆるフィールドを対象とし、研究者・現場技術者・コンサルタント・市民活動を行っている人たちなど、様々な活動内容と立場の人が参加して、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を共通の目標に、基礎的研究・応用的研究・実践的活動の成果を発表し、議論し、系統立て、新しい理論・知識・技術体系を発展・展開させるための活動を行っている。

本事業は、応用生態に関わる事例発表等の機会が地方では少ないことから、風土が類似し水系を共有する北信越5県を対象とし、実務技術者・若手研究者の登竜門・研鑽の場として、また現場に適用するための知見獲得の場を提供することを目的に開催している。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域の行政・現場技術者・コンサルタント・若手研究者が、具体的な研究・応用事例の知見を得るとともに、応用生態工学的な考え方を今後の活動・仕事に生かす機会として、平成24年度より隔年で実施しており、今回が3回目。

実務技術者の活動に力点を置いた発表会であり、その成果を社会基盤事業の実務に浸透させるための有力な手段となっているほか、一般市民の参加が、事業の執行や土地利用などについての社会的な合意形成や効果的な保全策の実現に大きく寄与している。さらに、土木事業における「人と生物の共存」、「生物多様性の保全」、「健全な生態系の維持」に対する取り組みについて、理解を深めることができる。

2. 事業実施体制

主催: 応用生態工学会
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、農林水産省北陸農政局、富山県、富山県立大学、富山県内水面漁業協同組合連合会、(公社)日本技術士会北陸本部、(公社)地盤工学会北陸支部、(一社)富山県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)富山県測量設計業協会、富山県ビオトープ研究会、北日本新聞社、富山新聞社



口頭発表

3. 事業実施概要

日時: 平成28年11月11日(金) 9:30~17:10
 場所: 富山地鉄ホテル
 プログラム:
 ・一般口頭発表 4編
 ・審査対象口頭発表 5編
 ・基調講演『中小河川の多自然川づくりと小さな自然再生』
 講師: 原田 守啓(岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授)
 ・表彰
 ・ポスターセッション
 参加費: 会員区分に応じて徴収
 参加者: 108名
 * CPD及びCPDS認定プログラム



ポスターセッション



表彰